



2021年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社メタップス 上場取引所 東
 コード番号 6172 URL <http://www.metaps.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 祐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長 (氏名) 萩野矢 宏樹 TEL 03-5962-6450
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,965	△5.7	3,902	—	3,832	—	3,404	—	3,358	—	3,420	—
2020年12月期第3四半期	6,326	△24.4	△532	—	△668	—	△713	—	△681	—	△807	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	246.66	218.14
2020年12月期第3四半期	△50.22	△50.22

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	26,920	9,329	9,195	34.2
2020年12月期	21,921	5,977	5,662	25.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

2021年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては、添付資料P.4「1. (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名） 、除外 1社（社名）Metaps Entertainment Limited

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期3Q	13,730,018株	2020年12月期	13,566,910株
2021年12月期3Q	170株	2020年12月期	0株
2021年12月期3Q	13,615,292株	2020年12月期3Q	13,566,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「テクノロジーでお金と経済のあり方を変える」のコーポレートミッションのもと、成長性の高いインターネット領域に経営資源を集中し事業を展開しております。当該領域は、スマートフォンやタブレット、ウェアラブル端末といったデバイスの普及に加え、Twitter、Facebook、Instagram、LINEなどのソーシャルメディアの拡大、クラウドや人工知能(AI)の進化、フィンテック、ブロックチェーンといった新しいテクノロジーやサービスの出現により劇的な変化を続けております。これらの市場規模は世界的にも一層の拡大が見込まれ、関連事業を提供する当社グループの収益機会も大きく広がるものと考えております。このような事業環境のもと、当社グループは、ファイナンス及びマーケティングを2つの事業の柱としながら、新たにDX支援事業を立ち上げ、SaaSサービスの展開や、ブロックチェーン技術を活用した新規サービスの開発を積極的に行っております。また2020年8月に中期経営計画「The Road To 2025」を策定し、決済を中心とするフィンテック領域、成長戦略の軸であるDX支援事業、中長期で着実な利益成長が可能なストック型ビジネスに重点的に投資することを決定いたしました。変化の大きい事業環境の中でも安定的な収益基盤を築き、社会のDX化とフィンテックの発展を推進し、当社のビジョンとミッションの実現を目指してまいります。

前連結会計年度から継続する新型コロナウイルス感染症の拡大は当社事業にも様々な影響を及ぼしました。特にファイナンス事業においては、旅行・ホテル関連やイベント関連決済の需要が大幅に減少し、その影響は当第3四半期連結累計期間においても継続しております。一方、同事業のパッケージ・ソリューション及び信用ビジネスが好調に拡大しており、当社グループの成長の基軸となっております。感染症拡大を契機とした社会の変化は新たな顧客ニーズを開拓する機会と捉え、既存サービスの刷新を含め、積極的な事業展開を継続してまいります。

なお、中期経営計画の実現に向けた事業ポートフォリオ見直しの一環として、第1四半期連結会計期間において中華圏事業の持株会社であるMetaps Entertainment Limitedの株式譲渡を、また第3四半期連結会計期間において持分法適用関連会社である株式会社pringの株式譲渡を完了し、関係会社株式売却益として、それぞれ435百万円と3,520百万円を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高5,965百万円(前年同期比5.7%減)、売上総利益3,078百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益3,902百万円(前年同期は営業損失532百万円)、税引前四半期利益3,832百万円(前年同期は税引前四半期損失668百万円)、四半期利益3,404百万円(前年同期は四半期損失713百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,358百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失681百万円)となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を用いて比較しております。

報告セグメントの主な会社は、以下のとおりです。

セグメント名称	主な会社
ファイナンス	株式会社メタップスペイメント
マーケティング	株式会社メタップスワン
海外	<韓国> Metaps Plus Inc. Smartcon Co. Ltd.

① ファイナンス

法人企業向けの決済事業の他、成長著しいフィンテックの分野において、給与即時払いサービス「CRIA(クリア)」を中心とする信用ビジネスやスクール・定額制サービス向けの業務管理ツール「会費ペイ」などのパッケージ・ソリューションサービスを含め様々な新規サービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大・長期化する中、旅行代理店やホテル、イベント関連の決済代行サービスの一部において需要低迷が継続したものの、パッケージ・ソリューションサービスや信用ビジネスの成長が寄与し、事業全体は堅調に推移いたしました。

この結果、ファイナンスにおける売上高は1,619百万円(前年同期比30.0%増)、セグメント利益は481百万円(前年同期比74.3%増)となりました。

② マーケティング

国内法人企業向けにインターネット広告の運用をはじめ、データフィード等のテクノロジーを駆使した“データ×マーケティング”を軸とした包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォン向けの広告が堅調に推移したことにより売上高が増加したものの、外出自粛や在宅勤務等の増加を背景に拡大したEC関連の広告需要が一巡したことにより利益は減少いたしました。

この結果、マーケティングにおける売上高は2,107百万円(前年同期比24.3%増)、セグメント利益は110百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

③ 海外

韓国において法人企業向けにモバイル商品券等のデジタルギフトの発行や販売等を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、デジタルギフト市場が拡大する中、安定的な成長を維持しております。暗号資産交換所事業からの撤退に伴い収益が改善、また、第1四半期連結会計期間において、中華圏事業の外部企業への株式譲渡が完了いたしました。

この結果、海外における売上高は1,716百万円(前年同期比37.1%減)、セグメント利益は87百万円(前年同期比900.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は26,920百万円となり、前連結会計年度末の資産合計21,921百万円と比べ4,999百万円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物が4,607百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は17,591百万円となり、前連結会計年度末の負債合計15,944百万円と比べ1,647百万円増加しました。これは主に、営業債務及びその他の債務が2,192百万円、その他の金融負債が965百万円増加した一方で、社債及び借入金が1,004百万円、その他の流動負債が705百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は9,329百万円となり、前連結会計年度末の資本合計5,977百万円と比べ3,352百万円増加しました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,358百万円を計上したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末6,648百万円に比べ4,607百万円増加し、11,255百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は182百万円（前年同期は312百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期利益3,832百万円、関連会社株式売却益△3,520百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は5,411百万円（前年同期は139百万円の支出）となりました。これは主に、関連会社株式の売却による収入4,139百万円、子会社の支配喪失による増減額1,405百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1,049百万円（前年同期は1,564百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出889百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが取り組む事業の多くは、新規性が高く、その市場環境に多くの不確定要素を含んでおります。また、当社グループは中期経営計画の達成に向けた組織再編を積極的に進めており、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、業績予想の開示を見合わせる決定をいたしました。今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,648	11,255
営業債権及びその他の債権	9,195	11,085
その他の金融資産	412	311
その他の流動資産	291	182
流動資産合計	16,546	22,833
非流動資産		
有形固定資産	437	325
のれん	2,258	1,176
顧客関連無形資産	196	67
その他の無形資産	346	211
持分法で会計処理されている投資	1,617	46
繰延税金資産	78	100
その他の金融資産	444	2,162
その他の非流動資産	0	0
非流動資産合計	5,376	4,087
資産合計	21,921	26,920

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2021年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	889	—
営業債務及びその他の債務	10,294	12,486
その他の金融負債	954	873
未払法人所得税	86	829
引当金	12	9
その他の流動負債	1,511	806
流動負債合計	13,746	15,004
非流動負債		
社債及び借入金	1,469	1,355
その他の金融負債	93	1,139
引当金	62	5
繰延税金負債	559	71
その他の非流動負債	15	18
非流動負債合計	2,197	2,587
負債合計	15,944	17,591
資本		
資本金	5,444	5,517
資本剰余金	5,649	5,720
その他の資本の構成要素	△358	△329
利益剰余金	△5,072	△1,713
自己株式	—	△0
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,662	9,195
非支配持分	315	134
資本合計	5,977	9,329
負債及び資本合計	21,921	26,920

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
売上高	6,326	5,965
売上原価	3,315	2,887
売上総利益	3,012	3,078
販売費及び一般管理費	3,094	2,964
その他の収益	61	4,074
その他の費用	386	150
持分法による投資損益 (△は損失)	△124	△136
営業利益 (△は損失)	△532	3,902
金融収益	3	2
金融費用	138	73
税引前四半期利益 (△は損失)	△668	3,832
法人所得税費用	45	428
四半期利益 (△は損失)	△713	3,404
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△681	3,358
非支配持分	△31	45
四半期利益 (△は損失)	△713	3,404
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△50.22	246.66
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△50.22	218.14

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益 (△は損失)	△713	3,404
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない 項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	9	131
在外営業活動体の換算差額において純損益に振り 替えられた金額	△104	△115
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△95	16
税引後その他の包括利益	△95	16
四半期包括利益	△807	3,420
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△811	3,364
非支配持分	4	56
四半期包括利益	△807	3,420

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	資本剰余金	新株予約権	その他の 包括利益 累計額	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月1日時点の残高	5,444	4,557	20	△138	△117
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△130	△130
四半期包括利益合計	—	—	—	△130	△130
新株の発行	—	—	—	—	—
転換社債型新株予約権付 社債の転換	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	△20	—	△20
子会社の支配喪失による増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引	—	1,568	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,568	△20	—	△20
2020年9月30日時点の残高	5,444	6,125	0	△267	△267

親会社の所有者に帰属する持分

	利益剰余金	自己株式	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	2020年1月1日時点の残高	△4,984	—	4,899	△383
四半期利益	△681	—	△681	△31	△713
その他の包括利益	—	—	△130	35	△95
四半期包括利益合計	△681	—	△811	4	△807
新株の発行	—	—	—	—	—
転換社債型新株予約権付社債の 転換	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	20	—	—	—	—
子会社の支配喪失による増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引	—	—	1,568	732	2,300
自己株式の取得	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	20	—	1,568	732	2,300
2020年9月30日時点の残高	△5,646	—	5,656	353	6,009

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	資本剰余金	新株予約権	その他の 包括利益 累計額	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日時点の残高	5,444	5,649	0	△359	△358
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	6	6
四半期包括利益合計	—	—	—	6	6
新株の発行	12	13	△1	—	△1
転換社債型新株予約権付 社債の転換	61	59	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	—	—	—	—
その他	—	—	25	—	25
所有者との取引額合計	73	72	24	—	24
2021年9月30日時点の残高	5,517	5,720	24	△353	△329

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	利益剰余金	自己株式	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日時点の残高	△5,072	—	5,662	315	5,977
四半期利益	3,358	—	3,358	45	3,404
その他の包括利益	—	—	6	11	16
四半期包括利益合計	3,358	—	3,364	56	3,420
新株の発行	—	—	24	—	24
転換社債型新株予約権付 社債の転換	—	—	120	—	120
新株予約権の失効	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失による 増減	—	—	—	△237	△237
非支配株主との資本取引 自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	△0	△0	—	△0
その他	—	—	25	—	25
所有者との取引額合計	—	△0	169	△237	△68
2021年9月30日時点の残高	△1,713	△0	9,195	134	9,329

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△668	3,832
減価償却費及び償却費	313	318
持分法による投資損益 (△は益)	124	136
関連会社株式売却益	—	△3,520
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,154	△2,168
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,086	2,427
その他	580	△740
小計	419	285
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△27	△12
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△83	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	312	182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	△51	△89
無形資産の売却による収入	2	0
関連会社株式の売却による収入	—	4,139
子会社の支配喪失による増減額 (△は減少)	△63	1,405
その他	△27	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	5,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600	—
短期借入金の返済による支出	△963	△889
非支配持分への子会社持分売却による収入	2,300	—
割賦未払金の返済による支出	△185	△11
新株の発行による収入	—	24
リース負債の返済による支出	△187	△164
その他	△0	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,564	△1,049
現金及び現金同等物の増減額	1,737	4,544
現金及び現金同等物の期首残高	4,683	6,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	63
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,384	11,255

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当第3四半期連結累計期間における法人所得税は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。また、当社および一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報)

(1) 一般情報

事業セグメントは、経営資源のセグメントへの配分と業績を評価するために、最高経営意思決定者に定期的に提出される内部報告に基づいて認識しております。

当社グループは、売上高の推移等の経済的特徴及び提供するサービス等の要素が概ね類似する各事業セグメントを集約し、「ファイナンス」「マーケティング」及び「海外」を報告セグメントとしております。

「ファイナンス」においては、法人企業向けの決済事業の他、成長著しいフィンテックの分野において、給与即時払いサービス「CRIA (クリア)」を中心とする信用ビジネスやスクール・定額制サービス向けの業務管理ツール「会費ペイ」などのパッケージ・ソリューションサービスを含め様々な新規サービスを展開しております。

「マーケティング」においては、国内外の法人企業向けにインターネット広告の運用をはじめ、データフィード等のテクノロジーを駆使した“データ×マーケティング”を軸とした包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。

「海外」においては、韓国において法人企業向けにモバイル商品券等のデジタルギフトの発行や販売等を展開しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループのビジネス戦略に基づく経営資源の配分の強化を目的として、企業活動の実態に即したより適切な経営情報の開示を行うため、報告セグメントを見直しております。これに伴い、前連結会計年度において「マーケティング関連事業」及び「ファイナンス関連事業」に含めていた海外事業を「海外」として報告セグメントに追加しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 報告セグメントの売上高及び利益

報告セグメントの会計方針は「3. 重要な会計方針」で参照している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメントの売上高、利益及び損失は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	ファイナンス	マーケティング	海外	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,245	1,683	2,728	669	—	6,326
セグメント間の売上高	0	12	—	356	△368	—
合計	1,245	1,695	2,728	1,026	△368	6,326
セグメント利益 (△は損失)	276	115	9	△607	△0	△207
その他の収益及び その他の費用						△325
金融収益及び金融費用						△135
税引前四半期利益 (△は損失)						△668

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	ファイナンス	マーケティング	海外	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,619	2,033	1,716	597	—	5,965
セグメント間の売上高	0	74	0	363	△438	—
合計	1,619	2,107	1,716	960	△438	5,965
セグメント利益(△は損失)	481	110	87	△700	1	△22
その他の収益及び その他の費用						3,924
金融収益及び金融費用						△71
税引前四半期利益 (△は損失)						3,832